

# 第1章 正の数・負の数 補習問題

学習日 **5月 16日(土)**

## 第8回 正の数・負の数の加法② 教P 26~27 ワークP6

1 次の計算をなさい。

①  $(-8) + (-1)$

=

=

②  $(-9) + (-12)$

=

=

2 次の計算をなさい。

①  $(-3) + (+5)$

=

=

②  $(-10) + (+27)$

=

=

3 次の計算をなさい。

①  $(-5) + (+4)$

=

=

②  $(-26) + (+12)$

=

=

4 次の計算をなさい。

①  $(+10) + (-4)$

=

=

②  $(+17) + (-9)$

=

=

5 次の計算をなさい。

①  $(+3) + (-9)$

=

=

②  $(+14) + (-19)$

=

=

# 第1章 正の数・負の数 補習問題

学習日 **5月 16日 (土)**

## 第8回 正の数・負の数の加法② 教P 26~27 ワークP6

1 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{ll} \text{① } (-8)+(-1) & \text{② } (-9)+(-12) \\ = - (8+1) & = - (9+12) \\ = -9 & = -21 \end{array}$$

2 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{ll} \text{① } (-3)+(+5) & \text{② } (-10)+(+27) \\ = + (5-3) & = + (27-10) \\ = +2 & = +17 \end{array}$$

3 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{ll} \text{① } (-5)+(+4) & \text{② } (-26)+(+12) \\ = - (5-4) & = - (26-12) \\ = -1 & = -14 \end{array}$$

4 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{ll} \text{① } (+10)+(-4) & \text{② } (+17)+(-9) \\ = + (10-4) & = + (17-9) \\ = +6 & = +8 \end{array}$$

5 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{ll} \text{① } (+3)+(-9) & \text{② } (+14)+(-19) \\ = - (9-3) & = - (19-14) \\ = -6 & = -5 \end{array}$$

### <問題のポイント>

1 符号が同じときは、2数の絶対値の和に、2数と同じ符号をつける。

$$\begin{array}{l} \text{① } (-8)+(-1) \\ = - (8+1) \\ = -9 \end{array}$$

符号が - で同じなので - をつけ、  
-8と-1の絶対値の和を求めよう。

2~5 符号が異なるときは、2数の絶対値の大きいほうから小さいほうを引いた差に、絶対値の大きいほうの符号をつける。

$$\begin{array}{l} \text{① } (+3)+(-9) \\ = - (9-3) \\ = -6 \end{array}$$

符号が異なるので、  
絶対値の大きい -9 と同じ符号  
- をつけよう

絶対値の大きいほうから小さいほうを引いた差を求めよう

$$\underline{9-3}$$